



# 曾木の子

ホームページ <http://www5.synapse.ne.jp/es-so/>

## 学校便り No. 2

令和3年5月14日(金)発行

伊佐市立 曾木小学校

TEL:25-1152 FAX:25-1162

伊佐市 大口曾木1753番地



### 私の宝物・・・通知表(小学校一年生編)

校長 山田 俊也

数年前に実家に帰ったときに見つけた、小学校一年生から六年生のときまでの六枚の通知表。大切な大切な宝物です。

しかし、「学校から」の欄に書かれている内容は、あまりにも悪童すぎていて、自分では記憶がなく、信じられないものです。



1学期・・・学習中に落ち着きがなく、わき見が多い。もう少し話をよく聞いて考えるようにしてほしい。図工科では、構図を考え、思い切ってかくようにしたい。

係活動・・・係の仕事を時々忘れることがあった。進んでするがおしゃべりが多い。

3学期・・・文章の読解力が劣ります。何をたずねているかをじっくり考えなければなりません。全般的に落ち着きがほしい。

少しだけは記憶はあるのです。「落ち着きがない」とよく言われていたこと。いつもそわそわしていたこと。靴下がいつも上までピシッと伸びていないと嫌だったこと。

学校ではこんな感じでしたが、熊本県八代市南部の農家だったので、とにかくよく手伝いをさせられました。春はタケノコ掘り、しばらくすると田植え、夏はイ草刈りとブドウの収穫。

田植え前の代掻きは、トラクターではなく耕耘機で、表面をならすために板を引っ張りますが、その上に乗るのが役目となっていました。当初は、田植機はなく手作業で、楽しいどろんこ祭りではなく、苦痛な仕事でした。

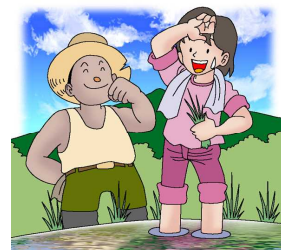
イ草刈りは、父親は朝5時から夜10時過ぎまで働きっぱなしで、夜中にもイ草を乾燥させる機械の点検のために何回も起きていました。

ブドウは、水俣市の市場に出荷するために、毎朝4時に起こされ、市場まで行き、帰ってくるのは6時、それからラジオ体操に出かけていました。

秋は、稲刈り、柿やミカン収穫。ミカンは夜に市場へ。

冬はイ草植え。

一年を通して、田んぼ、ブドウ畑、ミカン畑への農薬散布も大変な手伝いでした。



自ら進んでやった(させられる手伝いではない)仕事は、お正月前の餅つきでした。親戚中が集まり、大量の餅を作っていました。特につきたてのヨモギのあんこ餅の味は格別で、世の中で一番おいしいと思うものでした。

よく遊びもしました。近くの川や海での魚釣り、カブトムシやクワガタ採り、秘密基地づくり・・・。



学ぶ機会は、学校だけではありません。家の仕事を通して、近所の友達との遊びを通して、親戚とのふれあいを通してなど、あらゆる機会を通して様々なことを学んでいくのではないかと思います。

たくさんの人・こと・物・自然とのかかわりを通して育てていく、そして、大人になってからも自ら進んで、様々なことにかかわっていくことが大切ではないでしょうか。

(他の学年のときの通知表や日記の紹介はまたいつか・・・)

